

解説 1

- 文は、〈平叙文〉・〈疑問文〉・〈命令文〉・〈感嘆文〉・〈祈願文〉の5種類に分類され、さらに、それぞれ〈肯定文〉と〈否定文〉の2種類に分類される。
- 平叙文：単に何かを述べる文。ふつう主語で始まり、終止符（ピリオド）で終わる。
- 肯定文：内容を否定しない平叙文。いわゆる、ふつうの文
 - My little brother is a sixth-grader. 「私の弟は6年生だ。」
 - I made cookies by myself. 「私は一人でクッキーを作った。」
 - 否定文：否定語（not や never、no など）を含む平叙文
 - She is **not** five years old. 「彼女は5歳じゃない（彼女はもう子どもじゃない）。」
 - I have **no** idea. 「わかりません。」
- 疑問文：相手に何かを尋ねる文。疑問符（クエスチョンマーク）で終わる。
- 主に、助動詞や be 動詞で始まる Yes/No 疑問文と、疑問詞で始まる疑問詞疑問文がある。
- 肯定文：内容を否定しない疑問文
 - **Is** your mother still 40? 「あなたのお母さんはまだ40歳なのですか。」（Yes/No 疑問文）
 - **Will** you wait for a moment? 「少し待ってもらえますか。」（Yes/No 疑問文）
 - **Where** are you now? 「今どこにいるのですか。」（疑問詞疑問文）
 - 否定文：否定語を含む疑問文
 - Why **didn't** you call me? 「どうして電話してくれなかったの。」（疑問詞疑問文）
 - **Isn't** this dress lovely? 「このドレス、素敵じゃない。」（Yes/No 疑問文）
 - **Can't** you hear me? 「聞こえていないのですか。」（Yes/No 疑問文）

A

演習 1：基本問題 () 内の指示にしたがって英文を書き換え、さらに全体を和訳しなさい。

1. These textbooks are interesting. (Yes/No 疑問文に)

「
.....
」

2. She can speak French. (否定文に)

「
.....
」

3. He came to school yesterday. (Yes/No 疑問文に)

「
.....
」

4. This book was 800 yen. (下線部を問う疑問詞疑問文に)

「
.....
」

演習 1：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. Are these textbooks interesting? 「これらの教科書はおもしろいですか。」 ※ be 動詞の現在形の文。Yes/No 疑問文にするには、be 動詞を文頭に出す。
2. She cannot/can't speak French. 「彼女はフランス語を話せない。」 ※ 助動詞の現在形の文。否定文にするには、助動詞に not (強調するときには never) をつける。
3. Did he come to school yesterday? 「彼は昨日、学校に来ましたか。」 ※ 一般動詞の過去形の文。Yes/No 疑問文にするには、助動詞 Did を文頭に置き、動詞の過去形を原形にする。
4. How much was this book? 「この本はいくらでしたか。」 ※ be 動詞の過去形の文。疑問詞疑問文にするには、まず be 動詞を文頭に出して Yes/No 疑問文にする。次に、問われている部分が値段なので、その部分を疑問詞 How much に変えて、さらに文頭に置く。

解説 2

- 命令文：動作や状態を相手に命じる文。ふつう動詞の原形で始まり、終止符（ピリオド）で終わる。
相手に有利なことなど、文脈によっては強い表現にならないこともあるが、慣れないうちは、副詞 please 「どうか、お願いだから」を加えて丁寧さ、依頼感を出すことを心がけるとよい。
- 肯定文：内容を否定しない命令文
- **Drive** more slowly. 「もっとゆっくり運転しなさい。」（※一般動詞の命令文）
- **Be** careful, please. 「注意してください。」（※ be 動詞の命令文）
- 否定文：否定語を含む命令文
- **Don't be** noisy in the library. 「図書館内で騒がしくするな。」（※ be 動詞の命令文）
- **Never mind.** 「気にしないで。」（※一般動詞の命令文）

〔参考〕

- 感嘆文：話者の感嘆を表す文。感嘆符（！：エクスクラメーションマーク）で終わる。
What で名詞を感嘆する文と、How で形容詞や副詞を感嘆する文の 2 種類がある。
ただし、実際の会話で how を使うことは、まずない。
- **What a wonderful day** (it is)! 「なんて素晴らしい日だ。」（※名詞 a wonderful day を感嘆）
※感嘆して発する表現なので、文末の SV は省略されることが多い。感嘆文の否定文はない。
- **How beautiful** (this lavender field is)! 「(このラベンダー畑は) なんて美しいんだ。」
（※形容詞 beautiful を感嘆）
- **How fast** time flies by! 「時はなんて早く過ぎ去るのだろうか。」（※副詞 fast を感嘆）
- 祈願文：話者の祈りを表す文。May で始まり、感嘆符で終わる。
※述語動詞が助動詞 may を含む文において、May を文頭に出す。
- **May** your days **be** merry and bright! 「皆さんの日々が楽しく明るくありますように。」
- **(May)** God **bless** you! 「神があなたにご加護を与えますように。」
※助動詞 may は「(50% の確率で) ~かもしれない」という〈推量〉を表す。
祈願文は、その可能性を「神に託す」厳かなイメージで、内容や使う場面は限られる。
また、祈願文の否定文はない。

B 演習 2：基本問題 日本語を参考に、空所に適語を入れて英文を完成しなさい。

- 食べすぎるな。
() eat too much.
- 人にやさしくしなさい。
() kind to others.
- 教科書の 36 ページを開けてください。
() () your textbook to page 36.

演習 2：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- Don't** ※否定の命令文なので、文頭に Don't を置く。
Never は、文法的には正しいが、内容的に「絶対に、決して」などの強い禁止ではないと判断し、不適とする。
- Be** ※空所に続く kind が形容詞なので、空欄には be
- Please open** ※本のページを開けるのは動詞 open で表す。依頼感を出すための please 「～してください」は、文頭か文末に置くのが基本。

年	組	番	氏名	A / 4
実施日				B / 3
			年 月 日	

検印